

Greeting from Chairman of Japanese Society of Stoma and Continence Rehabilitation

Koutarou Maeda MD, PhD

Chairman,

Japanese Society of Stoma and Continence Rehabilitation

Professor and Chairman

Department of Surgery, Fujita Health University



第 6 回アジアオストミー協会大会 (AOA 東京大会 2008) 開催によせて

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 理事長

藤田保健衛生大学医学部 外科教授

医学博士 前田耕太郎

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会を代表して、第 6 回アジアオストミー協会大会が日本オストミー協会の主催で、東京、国立オリンピック記念青少年総合センターで開催されますことをお祝い申し上げますとともに、参加のすべてのアジアのオストメイトに歓迎の意を表します。

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会は、1984 年に日本ストーマリハビリテーション学会として主に医師と看護師が協力してストーマを有する患者さまの QOL 向上ために発足した学会です。

2006 年にはさらに領域を拡大し日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会として排泄障害を有するすべての患者さまや学問領域をカバーする学会に発展し、オストメイトや排泄障害を有するすべての人々のために活動しております。

本第 6 回大会は、アジアのオストメイトの交流と親睦、QOL 向上のための種々の情報交換や討論の場として開催されます。アジアの国では、いろいろな環境や習慣・風習の違いがあるのでそれぞれ種々の問題が発表、討議されることと存じます。アジアの心は共通と日頃から感じておりますので、いろいろな国からのいろいろな経験を共有できる場になるかと存じます。私どもも、本大会やアジアのオストメイトのために側面からできるだけの協力をさせていただきます。本大会が成功裏に開催されることを祈念いたします。